

ISO22000の認証 松戸工場などで取得 全国水平展開を目指す

新日本 ウエックス

ユニフォームレンタルの新日本ウエックスは、千葉県・松戸工場(千葉ウエックス)の食品ユニフォーム・クリーニング関連部署と東京本部、野田事業所のサービス関連部署で、3月5



日付で食品安全マネジメントシステム「ISO22000」の認証を取得したことを明らかにした。審査登録は日本化学キューエイ(JCQA)が行った。新日本ウエックスによると、全国12カ所のクリーニング工場のうち、食品ユニフォーム専用ラインのある7工場すべてでISO22000を水平展開する方針で、共通した管理システムの運

口の視点で品質と衛生の管理を行うこと。RALを確実にかつ継続的に回していくための仕組みを得ることが認証取得の主な狙い」と語った。

同社が10年から運用しているRALは、品質と衛生の両面で管理基準が定められているドイツの規格で、食品ユニフォームでは10cm角当たりの一般細菌数が、ほぼ無菌状態の50個以下と

ISO22000の認証を取得した松戸工場の食品ユニフォーム専用ライン
.....
用により、横断的な取組みとして品質と安全性のレベルアップを図る考えだ。

廣瀬純平社長は「食品ユニフォームを扱う会社として、食品現場のプ

いう厳しい条件が要求される。ISO22000は、RALの基準を満たすためのアプローチとチェック、ドキュメントの機能として活用していく。

では、細菌の混入と残留を防ぐため、洗濯水の水質や加熱温度、洗剤・助剤の量、洗濯時間などの管理レベルを上げ、さらに校正用の計測機器を別途設けることで、実測値に対する精度と信頼性を高めた。

食品安全チームは営業部門と生産部門、技術部門、事務局から集まった14人で結成し、定期的なミーティングを行っている。廣瀬社長は「異なる担当部署が合

(谷本健二)